

足利風 -ashikaga-fu

2016
12月号

Vol. 47



絵：あべ あやこ

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

「草木も人も同じ水を飲む」

以前、山形県庄内地域のまちづくりを頼まれ、十年ほど足繁く通ったことがある。その頃、近くの高島町に面白い青年たちがいて、置賜地域にも頻繁に出入りすることになった。置賜の田んぼの隅々には、全国でも此処でしか観られない“草木(供養)塔”があった。勝手な思い込みで～草や木にもイノチがあり、その稲などのイノチを載いて(殺して)人間が生かされている・・という、草や木などの自然への敬虔な感謝の祈りが此処にはある、と感動した。

国際日本文化研究センター創設者で初代所長・日本思想哲学者・文化勲章受賞者・梅原猛さんは、インド仏教や中国仏教にはない日本仏教思想として“草木国土悉皆成仏(そうもくこくどしっかいじょうぶつ)”という言葉をあげている。この思想は、人間や動物ばかりか草木すなわち植物も、国土すなわち鉱物もすべて仏性を持っていて成仏できると考える思想である。つまり、この世のすべてのものに大日如来が宿る、ということである。“草木国土悉皆成仏”という思想は、日本の文化的伝統と仏教の出会いによって生み出された日本独自の仏教思想である。「世界ぜんたいが幸福にならなければ個人の幸福はありえない」と謳った詩人・宮沢賢治の宇宙には“草木国土悉皆成仏”という思想が散りばめられており、生きとし生けるものへの愛おしさで彩られている。

まさに、法華経に曰く「草木も人も同じ水を飲む」である。

～うしろすがたのしぐれてゆくか/分け入っても分け入っても青い山/
どうしようもないわたしが歩いている・・

放浪の俳人・山頭火の句集も「草木塔」である・・。

人間中心主義の西洋近代文明論とは、此岸と彼岸ほど異なる思想を生きている人々の中で、インドの大地・コルカタで逢った、ボランティアの母なるマザー・テレサが、確かに息づいていたことを・・
私は、知っている。



(M生)

「とっておきの足利」大盛況！

「とっておきの足利」をテーマに、3回連続で“協働のまちづくり講座”を行いました。どの回も盛況でした。9月15日には、長 太三さんをお迎えして「足利豪商の源流」と題した講座を40名ほどの参加者で実施しました。豪商“萬(よろづ)屋”長家の三代目・四郎三のお話を核にした興味あふれる講座となりました。四郎三の号・物外から命名された、現在も残る茶室・物外軒や小侯の木村半兵衛などの逸話も披露され、参加者も感銘を受けたようでした。来年3月には、これに関連して、読書サロン「まちの縁側」として、長 太三著“物外軒雑記”が企画されており、楽しみで待ち遠しいとの声も聴かれました。好評のうちに連続講座「足利の極み」「とっておきの足利」が無事終了しました。参加者のみなさんご協力ありがとうございました。

＊まち映画『セフィロト(生命の木)の花』＊

～足利で「まち映画」をつくる会 実行委員長 後藤璃翠～

(第二中学校三年)

初めまして。私は足利で「まち映画」をつくる会実行委員長の後藤璃翠です。本会は活動5年目になりますが、今年の活動は命と人の内面の成長をテーマにした映画「セフィロトの花」を制作しています。

このストーリーは、ナツメという中学生が死神から余命宣告を受け「死にたくなければ良いことをしろ」と告げられます。ナツメなりに考えた良いことを実行するのですが思うようにいかず葛藤しながら成長していく物語です。撮影を一通り終え、今振り返るとナツメの成長と共に私自身も成長できたのではないかと感じています。

当初私は実行委員長という重いポジションを受けるにあたって、迷いと不安がありました。その理由は、私は受験生であり、学校の部活動の他にも Cheer Leading をやっているため、限られた時間の中で全てをきちんとこなせるのか自信がなかったからです。実際に活動してみると、出演者の募集から始まり、台本作りは想像していた以上に大変でした。その上、オーディションでは主役のナツメ役に抜擢。キャスティング決めを行ったカメラ班のメンバーに「璃翠ならこの大役をやってくれるんじゃないかと思い決めた。」と聞き、嬉しく思ったと同時に最後まで絶対にやりきろうと決めました。

実際に演技稽古や撮影ではトラブルが相次ぎ、不安と焦りでいっぱいになってしまいました。何をすべきかという優先順位がわからなくなり、思ったようにできない自分が悔しくて何度も涙を流しました。でも、自分が一番つらい時に、常に見守って支えてくれる仲間がいたことに気が付きました。年齢や性別を超えて、それぞれが一人の人間として関わる中で、お互いに支え合って過ごしてきた時間は、何にも代えることのできないかけがえのない時間です。

最後に、撮影場所の提供をくださった山辺中学校、老人ホーム「そよ風」の皆さんありがとうございました。また、エキストラとして参加してくださった方たち、そしてこの映画製作にご協力いただいた全ての皆さんに心より感謝しています。本当にありがとうございました。上映会は2月を予定しています。ここでは書ききれない映画製作の裏側をトークショーとしてお話しします。『セフィロトの花』上映会でお待ちしています。



＊足利手話サークルあざみ＊



足利手話サークルあざみです。
老若男女問わず楽しく手話を学んでいます。
活動は毎週火曜日 19時半～21時、
足利市生涯学習センターにて行っています。
手話の学習以外にも、ハイキングや食事会など、
ろう者を囲んで交流会も行っています。
私たちと一緒に楽しく手話を覚えませんか♪

① インフォメーション ①

MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR!

みなさまにおかれましては、本年も、足利市民活動センターへのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。おかげさまで、足利市内外から、その活動に対しまして、身に余る高い評価をいただいております。ありがとうございます。

来る新年2017年も、より皆様にご満足していただけますよう、尚一層努力して参ります。どうぞよろしく願い申し上げます。

足利市民活動センター指定管理者・NPO 法人足利の風理事長 鈴木光尚

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

★ 12月10日(土) 10:00am～12:00am

* 本 : 田村 明「まちづくりの発想」(岩波新書)

* 案内人: 丸山精一さん

★ 1月8日(日) 1:30pm～3:30pm

* 本 : 「幸せになる勇氣」(ダイヤモンド社)

～自己啓発の源流 “アドラーの教えⅡ”～

* 案内人: 北詰大地さん・新井街栄さん

■会場: 足利市民活動センター

■参加費: 無料

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 12月・1月のご案内 ～

* 川島直人水彩画作品 展 (11月21日～12月1日)

* 足利の歴史を百倍楽しむ企画展 (12月5日～21日)

* 新春創作人形 展 (1月5日～19日)

* 遠い日のふるさと 展 (1月23日～2月2日)

Facebook の
QRコード



☆相談室 & 講座のご案内

* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

* 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

宇多田ヒカルが6年ぶりに「花束を君に」という曲を歌った。母親・藤圭子へのオマージュ(敬意・賛辞)だ。井上陽水は宇多田ヒカルの歌の本質は「わびしさ」と言い当てている。血は争えない・・ということだ。閑話休題。昔々若い時に、帝国ホテルで大勢の名士の集いで、司会のサブをしたことがあった。終わった直後、ゲストの歌手・藤山一郎さんが私に駆け寄って来て手を握って「S君良かったよ」と言って励ましてくれた。涙がでるほど嬉しかった。その時の手の温もりを今でも忘れない。・・あふれるほどの感謝の心(気持)を言葉では伝えきれないから、なみだ色の花束にして・・君に。
(カサブランカ)